

コードレスステレオヘッドホンシステム

コードレスステレオヘッドホンシステム

コードレスステレオヘッドホンシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

- 警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本機は赤外線を使用したコードレスステレオヘッドホンシステムです。トランスミッターをヘッドホン端子、または音声出力端子のあるテレビやオーディオ機器に接続するだけで、ヘッドホンコードにわずらわされることなく、手軽にお使いいただけます。

最大7mまでの広い赤外線到達範囲
・ヘッドホンをかけるだけで自動的に電源が入り、はずすと自動的に電源が切れる、オートパワーオン/オフ機能
・ヘッドバンド調節不要のフリーアジャスト機構を採用

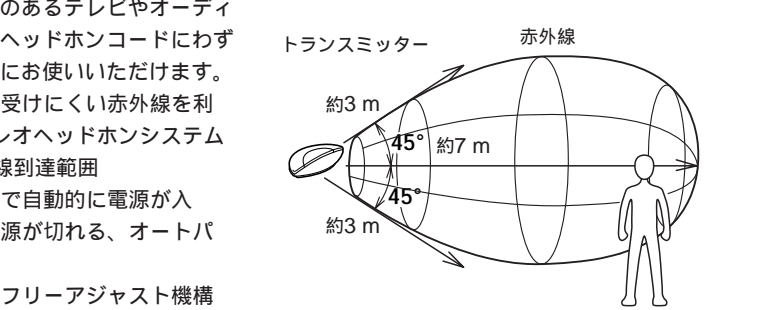
ヘッドホンの左右の音量を連動して調整できる
ボリュームVOLつまみ

ヘッドホンは、充電式ニカド電池(付属)または乾電池(別売り)のどちらでも使用可能

このシステムは赤外線を使用しているため、上図の範囲内であってもトランスミッターから離れるにしたがつて、雑音が増えます。また、赤外線がさえぎられた場合は音がとぎれたり、雑音が入ることがあります。これらの現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。

赤外線受光部を手や髪でおおわないでください。

トランスミッターはヘッドホンに対して前方、後方、横方向に置いてもヘッドホンをお使いになる位置が図の範囲内であれば使いになれます。



- このシステムは赤外線を使用しているため、上図の範囲内であってもトランスミッターから離れるにしたがつて、雑音が増えます。また、赤外線がさえぎられた場合は音がとぎれたり、雑音が入ることがあります。これらの現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。
- 赤外線受光部を手や髪でおおわないでください。
- トランスミッターはヘッドホンに対して前方、後方、横方向に置いてもヘッドホンをお使いになる位置が図の範囲内であれば使いになれます。
- トランスミッターの位置やお使いになる場所の状況により聞こえかたが異なります。なるべく聞こえやすい位置でお使いになることをおすすめします。

主な仕様	
一般仕様	
変調方式	周波数変調
搬送波周波数	右チャンネル 2.8MHz <p>左チャンネル 2.3MHz</p>
周波数特性	18～22,000Hz
トランスミッター	TMR-IF230R
電源	DC 9V(付属のACパワーアダプターを使用)
音声入力端子	ピンジャック/ステレオミニジャック
最大外形寸法	約152×40×72mm(幅/高さ/奥行き)
質量	約85g
ヘッドホン	MDR-IF230
電源	充電式ニカド電池 NC-AA(HJ) <p>または、DC 1.5V (単3形乾電池×1)</p>
質量	約180g(付属の充電式ニカド電池含む)
付属品	ACパワーアダプター(1)、接続コード(約1m、ステレオミニプラグ×1 ピンプラグ×2)(1)、充電式ニカド電池NC-AA(HJ)(1)、取扱説明書(1)、ソニーご相談窓口のご案内(1)、保証書(1)
別売りアクセサリ	
・付属の接続コードをステレオ標準ジャックに接続したいとき	プラグアダプターPC-234S(ステレオミニジャックステレオ標準プラグ)
・付属の接続コードをイヤホン端子につないで、右チャンネルの音がでないとき	プラグアダプターPC-236MS(ステレオミニジャックモノラルミニプラグ)
・付属の接続コードをなくしてしまったとき	接続コード RK-G129(1.5m、ステレオミニプラグ×1ピンプラグ×2)
・ステレオミニジャックのLINE OUT端子につなぎたいとき	接続コード RK-G136(1.5m、ステレオミニプラグ×1ステレオミニプラグ×1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

コードレスステレオヘッドホンシステム



このシステムは赤外線を使用しているため、上図の範囲内であってもトランスミッターから離れるにしたがつて、雑音が増えます。また、赤外線がさえぎられた場合は音がとぎれたり、雑音が入ることがあります。これらの現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。

保証書とアフターサービス

保証書
・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。

・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではコードレスステレオヘッドホンシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	
お問い合わせはお客様ご相談センターへ	受付時間:
●ナビダイヤル……………0570-00-3311	月～金
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)	9:00～
●携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311	20:00、
●Fax……………0466-31-2595	土・日・祝日
	9:00～
	17:00

Sony online http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

電池についての安全上のご注意

この機器は充電式ニカド電池を使用します。漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

危険

- 付属の充電電池を他の機器に使用しない。この電池はソニーコードレスステレオヘッドホンシステム専用です。
- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 充電式ニカド電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。







警告

- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意



- +と の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。

警告表示の意味	
危険	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
注意を促す記号	行為を指示する記号
 火災	 感電
	 プラグをコンセントから抜く
行為を禁止する記号	
 禁止	 分解禁止
	 接触禁止

お買い上げ店、またはソニーサービス窓口をお持ちになる際は、必ずヘッドホンとトランスミッターと一緒に持ちください。



警告	下記の注意を守らないと、 火災・感電 により 大けがの原因 となります。
 火災	 感電
注意	下記の注意を守らないと、 けが をしたり 周辺の家財に損害 を与えたりすることがあります。

ぬれた手で**ACパワーアダプター**をさわらない

感電の原因となることがあります。



大音量で長時間つづけて聞きすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



はじめからボリュームを上げすぎない
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプターに長時間ふれない
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



警告 安全のために

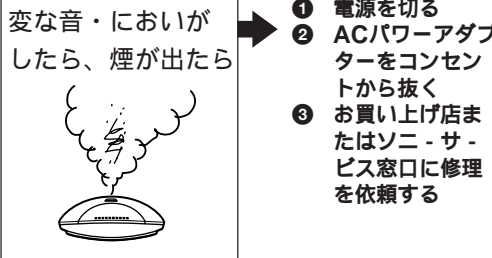
ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。


- 安全のための注意事項を守る**
この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

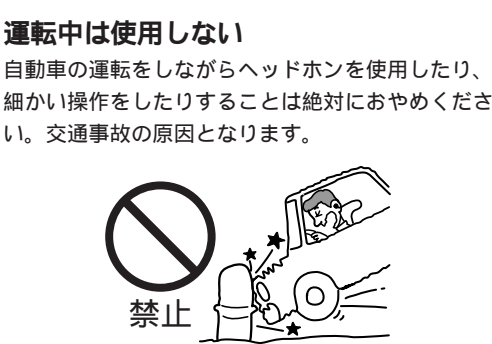
- 定期的に点検する**
1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

- 故障したら使わない**
動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

- 万一、異常が起きたら**



変な音・においがしたら、煙が出たら	電源を切る
	ACパワーアダプターをコンセントから抜く
	お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する



水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



この製品を海外で使用しない
ACパワーアダプターは、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない
感電の原因となります。



指定以外のACパワーアダプターを使わない
破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

準備

確認しましょう

はじめに内容物の確認をしてください。

- トランスミッター TMR-IF230R



- ACパワーアダプター



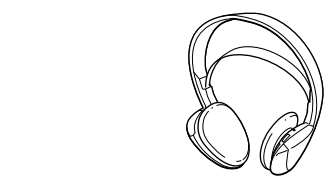
- 接続コード (ピンプラグ ステレオミニプラグ)



- 充電式ニカド電池 NC-AA(HJ)

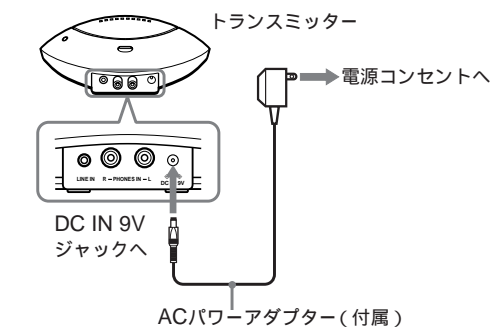


- ヘッドホン MDR-IF230



充電式ニカド電池を充電する

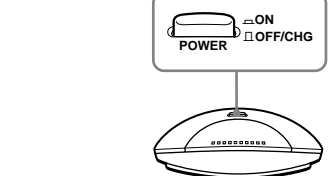
- トランスミッターを電源につなぐ。



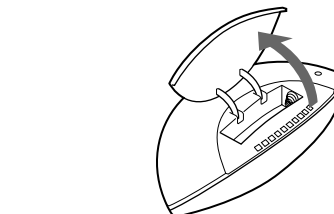
ご注意
この製品には、付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になります。

- 極性統一形プラグ

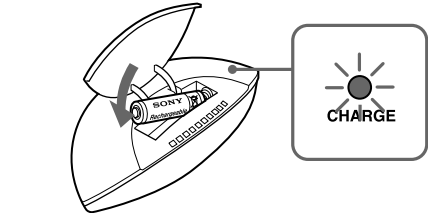
- トランスミッターの電源が切つてあることを確認する。



- トランスミッター上面のバッテリーチャージャーのふたを開ける。



- バッテリーチャージャー内の⊕と⊖にあわせて付属の充電式ニカド電池を入れる。CHARGEランプが点灯し、充電が始まります。付属の充電式ニカド電池以外は使用しないでください。市販の充電式ニカド電池は充電できません。



- バッテリーチャージャーのふたを閉じる。

充電時間の目安と使用可能時間	
充電時間	使用可能時間*
約1時間	約1時間30分
約24時間**	約30時間

* 1kHz,1mW+1mW出力時

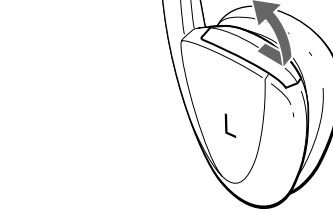
**充電されていない状態からフル充電するのにかかる時間

ご注意

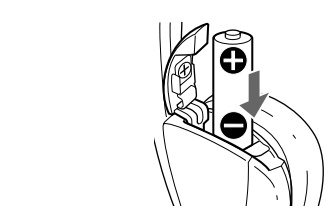
- 本機は安全のため、付属の充電式ニカド電池 NC-AA(HJ)のみ充電できるようになっています。他の同じ形の電池や充電式電池を使っても充電できませんのでご注意ください。
- 付属の充電電池NC-AA(HJ)を他の機器に使用しないでください。この電池は、ソニーコードレスステレオヘッドホンシステム専用です。
- 本機の充電は少しずつ行われますので、充電のしすぎによって故障することはありません。ヘッドホンを使わないときはいつも充電しておくことをおすすめします。
- トランスミッターの電源が入っているときは、充電機能は働きます。

ヘッドホンに充電式ニカド電池を入れる

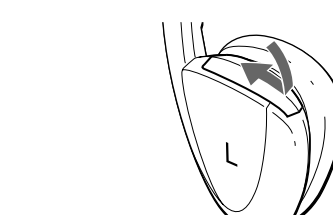
- 左ハウジングの上部にある電池のふたを開ける。



- 付属の充電式ニカド電池NC-AA (HJ)を入れる。十分に充電されていることを確認してください。

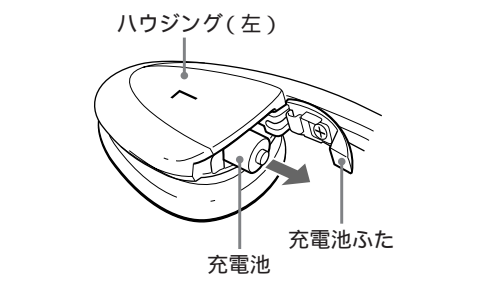


- 電池のふたを閉じる。



充電電池を取り出すときは

- ハウジングを水平にして電池のふたを開ける。
- 下図を参照して充電電池を取り出す。



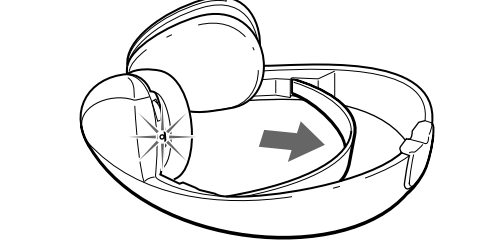
乾電池(別売り)を使うとき

充電式ニカド電池と同様に、ハウジング(左)にある電池ケースに入れてください。

乾電池の種類	持続時間
ソニールカリ乾電池 LR6/AM3 (N)	約100時間
ソニーマンガン乾電池 R6P/SUM-3 (NS)	約50時間

電池の残りを確認するには

フリーアジャストバンドを引き、電源ランプが赤く点灯すれば使用できます。



電源ランプが暗い、または音が歪んだり雑音が多くなったときは、充電するか、乾電池でお使いください。

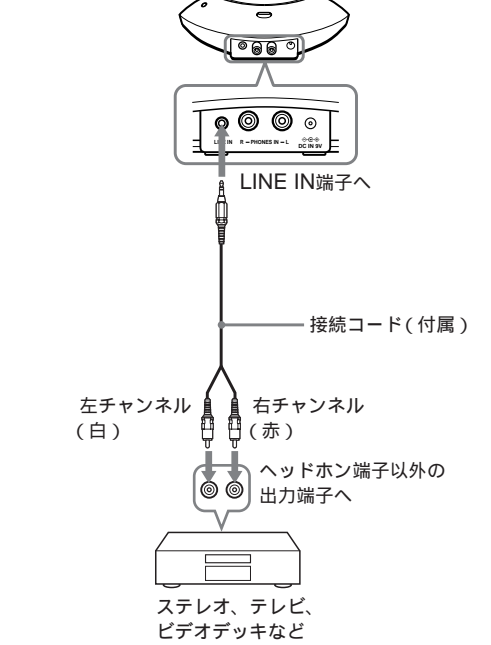
充電式ニカド電池を十分に充電しても電源ランプが暗いときは、新しい充電式ニカド電池に取り換えてください。この充電式ニカド電池は市販されていませんので、お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせのうえ、お取り寄せください。

トランスミッターを設置する

トランスミッターの2種類の入力端子は、それぞれ専用の入力端子です。PHONES INは、ヘッドホン端子に、LINE INはLINE OUT端子につないで使います。

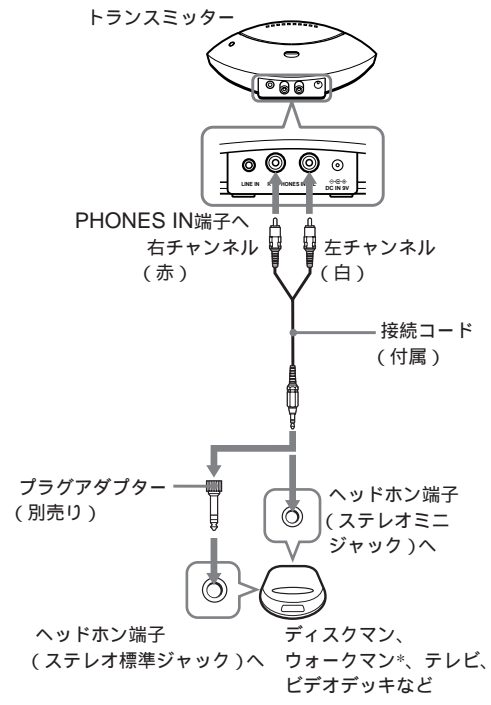
- トランスミッターをAV機器につなぐ。AV機器の出力端子の種類に合わせて②または③を選んでください。

- ヘッドホン端子以外の出力端子につなぐ場合は、必ずトランスミッターのLINE IN端子につなぐ



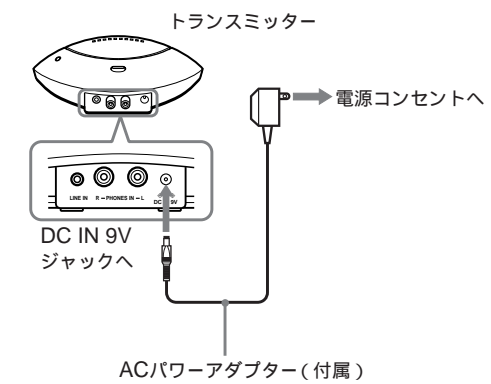
ご注意
お持ちのAV機器のLINE OUT端子がステレオミニジャックのときは、別売りの接続コードRK-G136を使って、トランスミッターのLINE IN端子につないでください。AV機器のLINE OUT端子とトランスミッターのPHONES IN端子をつなぐと音量が小さくなったり、こもった音になります。

- ヘッドホン端子につなぐ場合は、必ずトランスミッターのPHONES IN端子につなぐ



ご注意
お手持ちのAV機器のヘッドホン端子とトランスミッターのLINE IN端子をつなぐと音がひずむことがあります。

- トランスミッターを電源につなぐ。



ご注意

- PHONES IN端子をLINE IN端子と同時に使わないでください。両方の端子に2台のAV機器を同時につなぐと、両方の信号がミックスされて再生されます。
- この製品には、付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になります。



- 接続コードをイヤホン端子(モノラルミニジャック)に直接つないだ場合は、右チャンネルの音が出ないことがあります。このときは別売りのプラグアダプターPC-236MS(ステレオミニジャック モノラルミニプラグ)を接続コードとイヤホン端子の間につないでください。

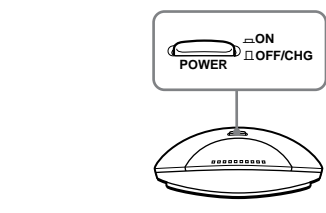
* ウォークマンはソニー(株)の登録商標です。

使いかた

音声を聞く

- トランスミッターに接続したAV機器の電源を入れる。

- トランスミッターの電源を入れる。赤外線発光部が点灯します。



- ヘッドホンをかける。電源ランプが赤色に点灯し、自動的に電源が入ります。



- 音量を調節する。



ヘッドホンをはずすと自動的に電源が切れます— オートパワーオン/オフ機能
お使いにならないときは、フリーアジャストバンドが引き上げられた状態にしないでください。電源が入ったままになります。



ヘッドホンから音が聞こえないときは— ミュート機能
赤外線が届く範囲から離れたり、赤外線がさえぎられたりして雑音が増え、自動的にミュート機能が働きヘッドホンから音が聞こえなくなります。トランスミッターに近づくか、赤外線がさえぎられないようにすれば、自動的にミュート状態は解除されます。

お使いになったあとは
ヘッドホンをはずしてから、トランスミッターの電源を切ります。(ヘッドホンをはずす前にトランスミッターの電源を切ると、雑音が入ることがあります。)

ご注意
トランスミッターの赤外線発光部の明るさにムラがある場合がありますが、赤外線が届く範囲などの性能には影響ありません。

その他

使用上のご注意

取り扱いについて
トランスミッター、ヘッドホンを落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。

次のような所には置かないでください

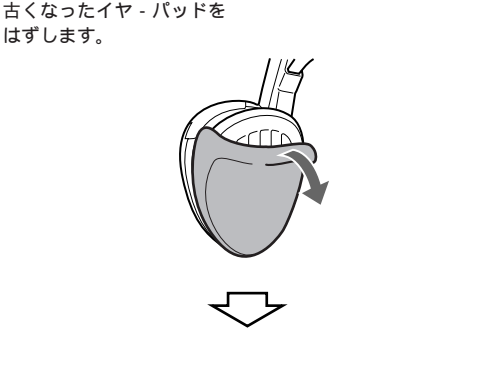
- 直射日光があたる所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所(なるべく5 -35 の範囲でご使用ください。)
- 風呂場など、湿気の多い所

長い間ご使用にならないときは

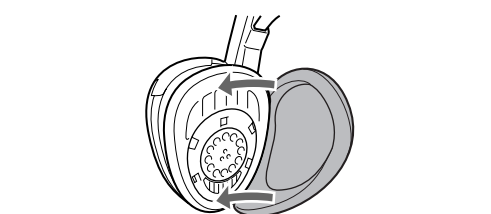
- ヘッドホンからバッテリーを取り出しておいてください。液もれやさびつきの原因となります。
- ACパワーアダプターをコンセントから抜いておいて下さい。

イヤerpパッドを交換するには

イヤerpパッドは消耗品です。汚れたり破損した場合は、お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口へお問い合わせください。下図を参照してイヤerpパッドを交換してください。古くなったイヤerpパッドをはずします。



イヤerpパッドをドライバーユニットの外周に合わせるようにはめ込んでいきます。



故障とお考えになる前に

音が出ない。音がこもる。

- トランスミッターの電源を入れてから、ヘッドホンをつける。
- トランスミッターとAV機器、ACパワーアダプターとの接続、電源コンセントとの接続を確認する。
- トランスミッターにつないだAV機器の電源が入っているか確認する。
- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。
- ミュート機能が働いている。
 - トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
 - なるべくトランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。
 - トランスミッターの位置や角度を変える。
- ヘッドホンの電源ランプが暗い、または消灯している。
 - 充電電池が消耗しているので充電をする。または乾電池を新しいものと交換する。それでも電源ランプが消灯したままの場合は、ソニーサービス窓口にお持ちください。

- トランスミッターのPHONES IN端子をAV機器のLINE OUT端子につなぐと、音が小さくなったり、音がこもります。「トランスミッターを設置する」をご覧になって、トランスミッターのLINE IN端子とAV機器のLINE OUT端子をつないでください。

音がひずむ。

- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、接続したAV機器の音量を下げる。
- ヘッドホンの電源ランプが暗い、または消灯している。
 - 充電電池が消耗しているので充電をする。または乾電池を新しいものと交換する。それでも電源ランプが消灯したままの場合は、ソニーサービス窓口にお持ちください。
- AV機器のヘッドホン端子をトランスミッターのLINE IN端子につないでいる場合、AV機器の音量を上げると音がひずみます。「トランスミッターを設置する」をご覧になって、AV機器のヘッドホン端子とトランスミッターのPHONES IN端子をつないでください。

雑音が多い。

- トランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。(トランスミッターから離れるにつれて雑音が多くなります。この現象は赤外線特性によるもので、故障ではありません。)
- トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。
- 赤外線受光部を手や髪でおおっていないか確認する。
- 直射日光の入る窓際で使っているときは、カーテンやブラインドを閉めて直射日光が当たらないようにする。または、直射日光の当たらない場所で使う。
- トランスミッターの位置や角度を変える。
- トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、つないだ機器の音量を上げる。
- ヘッドホンの電源ランプが暗い、または消灯している。
 - 充電電池が消耗しているので充電をする。または乾電池を新しいものと交換する。それでも電源ランプが消灯したままの場合は、ソニーサービス窓口にお持ちください。
- すでに本機以外のトランスミッターをお持ちのときは、同時に2台以上のトランスミッターを使っていないか確認する。
- 他のトランスミッターの電源を切るか、赤外線の届かない所へ移動する。